

平成25年度 岐阜県高等学校バスケットボール新人大会  
 兼 東海高等学校バスケットボール新人大会県予選会  
 大会2日目:平成26年2月1日(土)  
 会場:関わかくさプラザ・岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム

## 男子の部

<審判>

Aブロック 決勝	美濃加茂	95	$\left[ \begin{array}{c} 20 - 14 \\ 24 - 13 \\ 24 - 20 \\ 27 - 15 \end{array} \right]$	62	可児工	菅野 浩・小森公貴
Bブロック 決勝	岐阜総合	76	$\left[ \begin{array}{c} 13 - 17 \\ 21 - 17 \\ 20 - 11 \\ 22 - 21 \end{array} \right]$	66	大垣養老	大江裕之・岩永英夫
Cブロック 決勝	中津川工	62	$\left[ \begin{array}{c} 14 - 8 \\ 13 - 4 \\ 18 - 13 \\ 17 - 15 \end{array} \right]$	40	富田	相宮俊郎・神山元秀
Dブロック 決勝	岐阜農林	82	$\left[ \begin{array}{c} 17 - 12 \\ 17 - 6 \\ 21 - 4 \\ 27 - 10 \end{array} \right]$	32	大垣工	大野貴司・伊藤 潤
5位決定 予備戦	大垣養老	85	$\left[ \begin{array}{c} 22 - 4 \\ 27 - 17 \\ 21 - 13 \\ 15 - 14 \end{array} \right]$	48	可児工	長屋 貴・野々村日希
5位決定 予備戦	富田	80	$\left[ \begin{array}{c} 16 - 15 \\ 20 - 12 \\ 24 - 15 \\ 20 - 22 \end{array} \right]$	64	大垣工	高橋英彦・田中昭博

決勝 リーグ	美濃加茂	77	$\left[ \begin{array}{r} 23 - 11 \\ 13 - 13 \\ 24 - 17 \\ 17 - 19 \end{array} \right]$	60	岐阜総合	松野瑞穂・棚橋英一

第1ピリオド、両チームともハーフコートマンツーマンでスタートした。岐阜総合は④森口、⑤新川の3点シュートで得点する。中盤から美濃加茂のディフェンスが機能し始め、⑤瀬藤の3点シュート、④沼田のバスケットカウントで逆転し、23-11と美濃加茂リードで第1ピリオドは終了した。

第2ピリオド、美濃加茂は⑦安藤の3点シュート、⑥真鍋のミドルシュートでリードを広げる。残り7分、岐阜総合は3-2ゾーンに変え、流れを変えようと試みる。岐阜総合は④森口のバスケットカウント、3点シュートで巻き返す。第2ピリオドは両チームとも譲らない互角の展開となり、ゲームは白熱の様相を見せる。

第3ピリオド、美濃加茂は序盤から④沼田のリバウンドシュート、⑤瀬藤⑦安藤の速攻、さらに1-2-2ゾーンプレス仕掛けてリードを広げる。岐阜総合も⑤新川のドライブ、バスケットカウントで追いつけるも及ばず、第3ピリオドは60-41と美濃加茂がリードを広げ終了した。

第4ピリオド、岐阜総合は⑨水平の2本の3点シュート、⑮松岡のバスケットカウントで必死に追いつける。しかし、美濃加茂も⑤瀬藤の3点シュート、⑥真鍋のリバウンドシュートで流れを渡さず、77-60で、美濃加茂が決勝リーグ1勝目をあげた。

勝利には至らなかったが、岐阜総合は3点シュートやバスケットカウントなど、最後までリングに向かい、試合を諦めないバスケットが印象的であった。(杉山博宣)

決勝 リーグ	岐阜農林	77	$\left[ \begin{array}{r} 19 - 10 \\ 19 - 10 \\ 27 - 7 \\ 12 - 15 \end{array} \right]$	42	中津川工	名越龍男・篠田義貴

両チーム、ハーフコートマンツーマンで始まる。岐阜農林は⑤野原にボールを集めてオフェンスの起点として④松岡、⑤野原がシュートを決める。中津川工は⑥木村にボールを集めるが、思うように攻められない。第1ピリオドは岐阜農林が19-10とリードする。

第2ピリオド、岐阜農林は⑤野原、⑨森が着実にシュートを決め、得点を伸ばしていく。中津川工は相手のスピードに苦しみ3分でチームファールが4となり、2-3ゾーンに切り替える。オフェンスも相手の厳しいディフェンスを破れず、追いつける展開にならない。前半が終わり、岐阜農林が38-20と確実にリードを保つ。

第3ピリオド、岐阜農林は相手のゾーンディフェンスをものともせず、⑤野原が2本の3点シュートを含む12得点、⑨森も2本の3点シュートを含む8得点と活躍し、第3ピリオド終了時には65-27と相手を一気に突き放す。中津川工はこのピリオドわずか7点に終わり、苦しい展開。

第4ピリオド、岐阜農林はベンチメンバー全員を出場させる余裕を見せ、最後は77-42で勝利し、まず決勝リーグ1勝を勝ち取った。中津川工はディフェンスをマンツーマンに戻し、④鶴飼、⑥木村が精一杯の反撃を見せたが、それまでの失点を埋めることはできなかった。(水谷賢司)

女子の部

&lt;審判&gt;

Aブロック 決勝	岐阜女子	115	$\begin{bmatrix} 33 - 2 \\ 34 - 4 \\ 23 - 10 \\ 25 - 0 \end{bmatrix}$	16	岐阜総合	三浦寛之・高井詩織
Bブロック 決勝	土岐商	59	$\begin{bmatrix} 17 - 21 \\ 13 - 16 \\ 5 - 12 \\ 24 - 3 \end{bmatrix}$	52	岐阜農林	古田 怜・津田健介
Cブロック 決勝	高山西	64	$\begin{bmatrix} 23 - 2 \\ 11 - 20 \\ 17 - 11 \\ 13 - 14 \end{bmatrix}$	47	長 良	山田祐治・三宅浩平
Dブロック 決勝	県岐阜商	90	$\begin{bmatrix} 28 - 6 \\ 32 - 9 \\ 20 - 6 \\ 10 - 5 \end{bmatrix}$	26	郡 上	宮崎泰彦・武藤哲平
5位決定 予備戦	岐阜農林	74	$\begin{bmatrix} 15 - 12 \\ 23 - 15 \\ 21 - 5 \\ 15 - 9 \end{bmatrix}$	41	岐阜総合	小森邦弘・河野裕介
5位決定 予備戦	長 良	85	$\begin{bmatrix} 12 - 18 \\ 17 - 17 \\ 27 - 16 \\ 29 - 3 \end{bmatrix}$	54	郡 上	藤浪元明・鈴木雅雄

決勝 リーグ	岐阜女子	103	$\begin{bmatrix} 30 - 7 \\ 25 - 10 \\ 26 - 11 \\ 22 - 12 \end{bmatrix}$	40	土岐商	瀬川雄一郎・梶本健一

順当に勝ち上がってきた岐阜女子と、ブロック決勝で逆転勝ちをして勢いに乗る土岐商との決勝リーグ第1戦。岐阜女子はオールコートマンツーマン、土岐商はハーフコートマンツーマンでスタートする。岐阜女子は、④大橋恵、⑤上田を中心にバランスよく得点を重ねる。対して土岐商は、④伊藤、⑥栗山の3点シュートで食い下がるが、勝負どころのシュートが入らず、リバウンドを岐阜女子に奪われる苦しい展開となる。スピードと高さで勝る岐阜女子が徐々に点差を広げ、前半は55-17と岐阜女子リードで折り返す。

第3ピリオドに入り岐阜女子はベンチメンバーに交代するが、激しいディフェンスからボールを奪い、1対1からの合わせで得点する。土岐商も④伊藤の3点シュートやカットインなど個人技で対抗する。

40分を通して、徹底したマンツーマンディフェンスを展開した岐阜女子が最後まで相手を圧倒し、103-40の大差で決勝リーグ1勝をあげた。土岐商も、諦めずにボールに喰らいついたり、④伊藤のカットインなど果敢にゴールに攻め込んだりしたが、終始ゲームを支配した岐阜女子の前に反撃の糸口を見出すことができなかった。(岩永英夫)

決勝 リーグ	県岐阜商	85	$\begin{bmatrix} 19 - 7 \\ 30 - 10 \\ 19 - 10 \\ 17 - 6 \end{bmatrix}$	33	高山西	増田博徳・片野真

両チームともマンツーマンディフェンスで始まる。県岐阜商は立ち上がりから⑧花田の2連続3点シュート、さらに、④市原の2連続3点シュートが決まり好スタートを切る。高山西は⑧水上、⑥田下のスピードのあるドライブからフリースローを得るが、シュートが決まらず追い上げられない。第1ピリオドは県岐阜商が19-7とリードを奪う。

第2ピリオドに入ると県岐阜商はディフェンスの動きがさらによくなり、相手にシュートチャンスを与えない。攻めては⑤大西のパスワークが冴え、⑤大西のアシストから⑦藪下のあわせのプレーが次々に決まる。高山西は⑦松原のジャンプシュートで対抗するが、得点を伸ばすことができない。前半を終わり、県岐阜商が49-17と大きくリードする。

第3ピリオドに入っても試合の流れは変わらない。県岐阜商は⑥川島、⑦藪下のオフェンスリバウンドからのシュートや、⑧花田の3本の3点シュートでさらに得点を伸ばす。高山西はメンバーを入れ替え、流れを変えようとするがうまく機能しない。

第4ピリオド、県岐阜商は⑤大西から⑥川島への息の合ったプレーが光る。途中出場の⑩小林も3本のスティールを決める。県岐阜商がゲームの主導権を握り、最後は85-33で勝ち、決勝リーグ1勝目をあげた。高山西も最後まであきらめずよく走ったものの、なかなかシュートチャンスを作れず敗れた。(岩井憲司)